

# 令和3年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和2年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	D 建設・整備事業
事務事業名	泉北ニュータウン駅前再編整備事業			事業番号	016-004
担当部署名	泉北ニューデザイン推進室	局	泉北ニューデザイン推進室	部	課

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(5) 泉北ニュータウンの新たな価値の創造
		有	取組の方向性	②豊かな緑空間と多様な都市機能の調和			
	寄与するKPI	有・無	指標名	泉北ニュータウン全人口に対する39歳以下の人口割合			
		有	現状値	29.5%(2025年推計値)	目標値	30.5%(2025年度)	
堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.7	
		有	取組	ウォークアブルな都市空間の形成			
	寄与するKPI	有・無	指標名	-			
		無	現状値	-	目標値	-	
2	関連計画	泉北ニュータウン再生指針（本市策定）、泉ヶ丘駅前地域活性化ビジョン（泉北ニュータウン再生府市等連携協議会策定）、梅・美木多駅前活性化土地利用構想（本市策定）					
3	事業開始年度	平成 22 年度	終了（予定）年度	令和 7 年度			
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	都市計画法、道路法、都市公園法					

#### 事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	泉北ニュータウンに関わる市民、事業者など（南区人口約13万人）
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	泉北ニュータウンの駅前における様々な取組と連携を図りながら、駅前地域の道路や公園、駅前広場等の都市基盤の再編整備を行い、駅前地域の安全・安心の確保及び利便性向上を図る。
8	事業内容（目的を達成するための手段）	①泉ヶ丘駅前再編整備 ・三原台1丁交差点等の道路改良を行い、三原台1丁交差点付近の円滑な車両通行空間を創出する。 ・歩行者交通の増加が予想される三原台156号線の道路拡幅等を行い、安全・安心な歩行空間を創出する。 ・田園・三原公園等の再編整備を行い、地域の憩い空間を創出する。 ②梅・美木多駅前再編整備 ・警察・交通事業者等関係者と協議、調整し、駅前広場の再編整備を行い、駅前の更なる活性化や利便性の向上を図る。 ③光明池駅前再編整備 ・駅前再編整備に向け、地域住民、民間事業者、行政等が互いに連携し、共に行動するための行動指針を策定する。
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	設計業者及び工事業者
10	公民連携・協働事業	

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 終了(予定)年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度
11 再編整備の進捗率	%	目標値	-	7	17	100
		実績値	-	4		
		達成率	-	57%		
当該指標を選定した理由	全体の再編整備工事完了目標に対する、各年度の工事完了の目標と実績をもって達成状況を確認するため					
目標値の設定根拠・算出方法	整備完了面積/整備計画面積×100					
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
12 業務・工事の入札発注件数	件	目標値	8	18	9	
		実績値	8	11		
		達成率	100%	61%		
当該指標を選定した理由	再編整備完成に向け、各年度の業務や工事の発注計画とその実績より、事業の取り組み状況を把握するため					
目標値の設定根拠・算出方法	設計業務及び工事（入札案件）の発注件数					

## 令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	泉北ニュータウン駅前再編整備事業	事業番号	016-004
-------	------------------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

(単位：千円)

事業費 (a)	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
13 財源内訳	78,389	288,229	653,239	493,344	1,453,121
国支出金	12,021	53,525	218,727	171,861	348,252
府支出金					6,000
市債	12,400	69,000	335,500	256,700	695,300
その他（寄付金、繰入金等）	480	1,525	1,000		328,800
受益者負担金(使用料、手数料等)					29,256
一般財源	53,488	164,179	98,012	64,783	45,513
14 人件費 (b)	49,200	48,600	49,200	49,200	49,200
15 年間経費(c)=(a)+(b)	127,589	336,829	702,439	542,544	1,502,321

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R2	決算				R2	決算		
16	委託料（三原台156号線、田園公園、三原公園、新岸池関係）	R2	決算	81,300	11,670	その他工事請負費（ビッグバン、泉ヶ丘公園、光明池駅前関係等）	R2	決算	4,171	2,471
		R3	予算	120,130	4,854		R3	予算	33,186	484
	委託料（梅・美木多駅前関係）	R2	決算	6,092	1,732	公有財産購入費（三原台1丁交差点、三原台156号線関係）	R2	決算	18,923	1,155
		R3	予算	17,000	0		R3	予算	20,000	1,480
	其他委託料（ビッグバン、泉ヶ丘公園、光明池駅前関係等）	R2	決算	2,254	2,254	負担金（電柱等支障移転費、泉ヶ丘駅前地域活性化検討業務負担金等）	R2	決算	8,953	8,953
		R3	予算	225,640	0		R3	予算	17,385	0
工事請負費（三原台156号線、田園公園、三原公園、新岸池関係）	R2	決算	237,706	20,863	役務費（手数料、保険料）	R2	決算	1,126	1,126	
	R3	予算	811,572	38,690		R3	予算	286	0	
工事請負費（梅・美木多駅前関係）	R2	決算	132,399	14,139	その他（報酬、謝礼金、旅費、需用費、使用料等）	R2	決算	420	420	
	R3	予算	203,100	0		R3	予算	4,822	5	

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度	
		17 ①	再編整備の整備計画面積	m <sup>2</sup>
②	上記①にかかる年間経費	千円	336,829	542,544
③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	2,391	3,851

備考（算出についての説明等） 駅前再編整備の計画面積に対する各年度の決算額により単位当たりの経費を算出

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18 駅前の安全・安心の確保及び利便性向上に向けた様々な都市基盤の整備に向け、前年度に引き続き、関係者（地元、警察、バス事業者等）との協議・調整を進め、整備工事や設計を進めているが、新型コロナウイルス感染症予防対策による緊急事態宣言等により、関係者との協議や設計等業務に遅れが生じたことで、年度当初より事業に遅れを余儀なくされた。令和2年度からは、道路改良工事に着手したことから経費の増額が見受けられた。今後事業の完了年度に向けては事業は工事が主となることから、経費の増加が見込まれる。なお、財源については、国庫補助金を確保する等、一般税源の縮減に努めている。

#### KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 泉ヶ丘駅前においては、近畿大学医学部等の開設を見据え、周辺道路改良工事により円滑な車両交通の確保に貢献するほか、駅からの安全・安心な歩行空間の確保に向けても道路拡幅工事や地域の憩いの空間となる公園再整備に向けた設計・工事発注に取り組み、持続可能なまちをめざした社会資本の活用にも寄与した。

梅・美木多駅前においては、駅前周辺の新たな土地利用や地域課題に対応すべく、関係者（地元・警察・交通事業者）と協議・調整を重ねながら、設計作業に取り組み、駅前の更なる活性化や利便性向上に繋がる駅前広場再編を進めており、持続可能なまちをめざした社会資本の活用にも寄与した。

本事業により、安全・快適な歩行空間の拡充や人々の賑わい、回遊性の創出など、多様なライフスタイルに応じた駅前エリアの機能再編により、基本計画等のKPIの目標達成に寄与している。